

千葉県外国人活躍・多文化共生推進プラン 主な内容

～国や文化が違っていても、みんなが自分らしく活躍している社会～

プランのねらいなど

【プランのねらい】

千葉県は、成田空港があって、外国から日本への入り口になる県です。「多様性尊重条例」の目標「みんなが自分らしく活躍できる社会」をめざします。

【プランの期間】

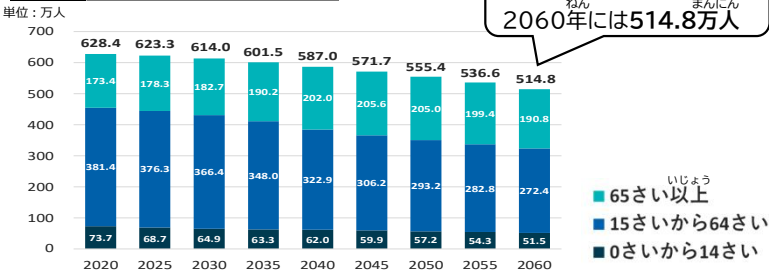
2024年4月から2028年3月まで

【プランの振り返り】

目標ごとの進み具合を数で表します。

千葉県の状況

○将来の千葉県の人口(予測)



これから減っていき
2060年には514.8万人

○千葉県に住む外国人の数と割合



10年で1.9倍
働く年齢の人のうち4.5%が外国人です。

<最近、日本や千葉県であったこと>

- 育成就労制度ができることが決まったこと
- 世界のたくさんの国で、働く人が必要であること
- デジタル技術が発達したこと
- 新型コロナウイルスがはやったこと
- 強い台風や大雨などが増えていること
- 成田空港がもっと大きくなること

大事なこと

【多様性尊重条例の目標】「国や文化が違っていても、みんなが、その違いを大事にして、自分らしく活躍している社会」

→ みんなが、違いを大事にすることは、生活がしやすくなったり、新しいことに気づいたりして、千葉県を元気にすることにつながります。

目標(めざすこと)

大きな目標

みんなが活躍し、安心して生活することができて、いつまでも元気でいられる千葉県

目標Ⅰ: 活躍(力をはきすること)

違いがあっても、みんなが大事にされ、自分らしく活躍できる千葉県

目標Ⅱ: 共生(いっしょに生活すること)

国や文化が違っていても、みんながいっしょに安心して生活できる千葉県

働いて活躍できる

- 外国からの留学生の就職を助ける
- 会社が外国人を雇うことを助ける

生活する地域で活躍できる

- 国や文化が違っていても、いっしょに生活する気持ちをもつ
- 外国人が地域で活躍できる場所をつくる

人と話したり、情報を見たり、聞いたりできる

- 日本語を勉強できるようにする
- 「やさしい日本語」を使う
- 役所などで、いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で情報を伝える

子どもが学校で勉強できる

- 外国人の子どもの勉強を助ける
- 外国人の子どもを助ける
- 学校の先生がいる
- 学校に行くことを助ける

災害、犯罪、事故から守る

- いろいろな国の言葉や「やさしい日本語」で情報を伝える
- 災害が起きたときに外国人を助ける
- 自分を守るための知識を持つ

住むところを探るとき、病院に行くときに困らない

- 住むところを探すことを助ける
- 病院に行きやすくする
- 困ったときに助けを受けることができるようにする

目標Ⅲ: 連携(力を合わせる)

いろいろな人たちと力を合わせて、活躍と共生を進める千葉県

外国人活躍と多文化共生に関わるいろいろな人たちと力を合わせる